

4月25日～27日に開催されたLIV GOLFツアー第6戦「メキシコシティ」の個人戦で、先ごろPINGとスポンサー契約を結んだチーム「トルクGC」のキャプテンであるホアキン・ニーマン選手が今シーズン3勝目を挙げました。

最終日、首位から2打差でスタートしたJ・ニーマン選手は7バーディ・1ボギーの「65」をマーク。最終的にトータル16アンダーで、2位に3打差をつけて優勝し、見事に全米オープンの出場権を獲得しました。

また、個人総合成績では首位を独走。キャプテンを務める所属チームの「トルクGC」も総合順位で5位につけるなど、J・ニーマン選手およびトルクGCの今後のさらなる活躍に注目が集まります。



ホアキン・ニーマン
Joaquin Niemann

ホアキン・ニーマン選手 クラブセッティング

ドライバー	G430 LST (10.5度)
フェアウェイウッド	G440 MAX (#4)、G425 MAX (#7)
ハイブリッド	G430 (#5)
アイアン	BLUEPRINT S (#5-9、PW)
ウェッジ	s159 (52度/S、56度/S、60度/B)
パター	PLD ANSER (カスタム)

注目 ギア

さらなる飛びとやさしさ、高弾道を実現した注目ギア「G440 MAX フェアウェイウッド」、J・ニーマン選手も使用



PING独自の“飛び重心”設計により、理想的な重心ラインに近づき、さらなる飛距離と高弾道を実現したG440 MAX フェアウェイウッド。

J・ニーマン選手をはじめ、国内外ツアーで多くのプレーヤーが使用している注目のギアです。

なかでも、ニーマン選手が使用する4W（ロフト角17度）は、3W（15度）に比べてボールが上がりやすく、5W（19度）よりも飛距離性能に優れるモデルとして、高い評価を得ています。